

発 言 通 告 書

令和 6 年 12 月 3 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 土井田 学

次のとおり通告します。

発言順位	5	受領日時	12 月 3 日 午前 11 時 45 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間 約 40 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	本市のブランドスローガン「幸せになろう」について	14 年間の市政運営を振り返り、今回「幸せになろう」をスローガンにした野志市長の心境と決意について
2	偏った職場環境について	(1) 年間 2,038 時間という時間外勤務について ①当該職員の 1 週間で最も多い残業時間数、最も遅く退庁した時間及び徹夜の日数について ②当該職員の職種と職階並びに市役所内の同職種、同職階の職員数について ③基本給とは別に令和 3 年度に当該職員が時間外勤務手当として受け取った金額について また、令和 4 年度についても同課に在籍しているのであれば併せて問う。 ④今回の時間外勤務は適正か否か問う。 また、問題ありの場合、その内容と責任の所在について (2) 国内外の出張について ①令和 5 年度の国内出張、海外出張の日数が多い上位 3 名の職階及び支給旅費について ②海外出張における出張先の国名、回数及び目的について
3	職員のモチベーションについて	(1) 主査試験の制度開始からの 3 年間と直近 3 年間の受験者数及び受験率について (2) 野志市政は現時点、中村前市長及び田中元市長は退任時点の鬱病等の心の病により療養休暇中の職員数について (3) 野志市政は今年度、中村前市長及び田中元市長は退任年度において自己都合で退職した若手職員の人数と離職率について (4) 職員のモチベーションは上昇しているか否か。その理由並びに見解及び公平・平等な職場づくりに関する市長の考えを併せて問う。

[illegible]